

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0272400789		
法人名	有限会社さくら		
事業所名	グループホームさくら		
所在地 (電話番号)	〒037-0305 青森県北津軽郡中泊町中里字亀山777-164 (電話) 0173-69-1088		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年2月22日	評価確定日	平成22年3月25日

【情報提供票より】(平成 22年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 12月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 9人, 非常勤 1人, 常勤換算 9人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	8 名	男性 0 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 73 歳	最高 89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	洋苑会 井沼洋クリニック、公立金木病院、毛内歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小規模デイサービスと併設しているため、事業所内でデイサービスと行き来することができる。ほとんどが地域の方で、デイサービスを利用されていた方がグループホームに入居するため利用者同士の交流もあり、入居されても馴染みやすい環境である。また、職員も同じ地域の方がほとんどで、事業所の理念を「第2の我が家を目指して」を挙げ利用者の思いを受け止めながら、地域との交流・かかわりを大切にしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で改善点として上がった内容に関して改善に向けて検討されている。理念の再構築の部分については、「地域密着型サービスは地域が当たり前前の事として内包されている。」とあえて改めはせず検討を継続している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については口頭で話し合い、また、結果についても改善点を話し合っているが、ほとんど管理者がまとめている。全職員が評価の意義を理解し、意見交換をしながら評価に取り組まれることに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	民生委員、役場職員、地域包括支援センター職員、地域有識者、利用者、家族代表、事業所職員等の参加で開催し、事業所の活動報告や行政からの伝達、地域からの意見を頂きながらサービス向上に向けて取り組まれている。今年度は感染症の問題等があり定期的な開催はなかった。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	家族の事業所訪問時に積極的に会話をし、意見を引き出す様に心がけ、意見・苦情の吸い上げに努めている。意見・要望に関しては職員間で話し合い改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	併設のデイサービス利用者の多数が地域で顔見知りのため、知人・友人の行き来があり、また、町内の散歩コースとなっているため気軽に立ち寄り交流されている。地域住民と共にリサイクル活動にも取り組んでいる。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者、職員とも地域住民であり、入居以前からの暮らしぶり等の情報が職員の中で周知された支援であるため、地域密着型サービスとして当たり前として捉えており、特に地域密着型サービスの役割を反映させる理念に至っていない。		日々の支援を「第二の我が家」に集約しすぎず、地域の中でその人らしく暮らし続けることの理念も地域密着型サービスの役割であり、今後の話し合いで検討することを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に理念について説明が行なわれており、管理者は機会あるごとに職員とも理念について話し合いを行っている。介護員は理念の実践の下に、日々の介護の目的を3つ挙げ実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	デイサービスと併設になっており、デイサービス利用者のほとんどが地域の方で顔見知りのため、知人や友人と誘い合って気軽に立ち寄ってくれる。また、町内の散歩コースとなっており、途中で立ち寄り世間話をしていかれる方もいる。事業所独自のリサイクル活動を提案し、地域住民と共に活動の輪を広げている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は職員がわかる範囲で記入しており、それをもとに管理者が作成している。外部評価結果については回覧し、改善点は会議で話し合いを行っているが、口頭のみで職員の理解には至っていない。</p>		<p>職員は評価の意義や活用について理解し、外部評価結果を全職員で話し合い、具体的な改善に向けて取り組まれることを期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>民生委員、役場職員、地域包括支援センター職員、地域有識者、利用者、家族代表、事業所職員等の参加者で開催しているが、今年度は悪天候やインフルエンザ等が重なって2回のみで開催となった。</p>		<p>グループホーム内の取り組みや日々の暮らしぶりの報告など、委員会の意見を参考にサービスの向上への取り組みを行うためにも運営推進会議の定期的な開催を期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じてその都度市町村の担当課に出向き、情報交換や相談、報告を行っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は地域ケア会議等の権利擁護に関する制度と理解の研修会に参加している。</p>		<p>事業所内研修の機会を設ける等、権利擁護に関して理解を深め、必要時は全職員が対応できる体制作りを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>月1回地域のケア会議に職員が交代で参加し、事例検討など高齢者虐待防止について学んでいる。マニュアルが整備され職員に周知されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に家族へ説明し、理解、納得を得て契約を交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時に利用者の状況を報告している他、病院受診や体調等については随時電話連絡をしている。毎月の利用料支払いの際に、金銭出納簿や領収書の確認をいただいている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員は家族面会時に積極的に会話をし意見を引き出し、職員全員で検討してケアプランに組み込んでいる。また、運営推進会議にも家族の出席があり、意見要望を話し合う機会を設けている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>併設のデイサービスとの異動があるが、普段から交流があり入居者とは顔馴染みとなっているので異動があっても利用者へのダメージは少ない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画はないが、外部研修にも勤務調整をして積極的に参加している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームが持ち回りで交流会を開き、担当の事業所が課題や事例等を出し研修会を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気から徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービスを利用していた方の入居が多く、自宅での生活ぶり等の情報や本人、家族の意向を聞きながら徐々に馴染んでいただくよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話の中から本人が得意とすることを探り、家事や畑作業の協働で共に支えあいながら過ごす関係を構築している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時、家族からの情報やセンター方式を活用し、利用者の思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で会話や行動、家族からの情報をもとに利用者本位の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に3ヶ月ごとの見直しを行い、本人や家族の要望や状態の変化に応じて臨機応変に介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の要望に応じて外出や病院受診等柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関以外でも本人、家族の希望に添った医療が受けられるように支援し、状況によっては看護師が受診介助を行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に説明をしており、看取り指針が整備され医師との協力体制も出来ている。職員はマニュアルを通して方針の共有がなされ、対応が可能である。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーを損ねるような声掛けや対応とならないよう注意しながら支援している。個人情報となる書類は事務室に保管し鍵を掛けている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の大まかなスケジュールは決まっているが、利用者の表情や行動などからも判断して個々のペースに沿った支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の出来る利用者はいないが、おしぼりをたたんだり、食後の片付けやテーブル拭きなど職員と共に行っている。職員は食事状況や摂取量を見守りながら一緒に食事をしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に入浴は週2回の実施となっているが、体調不良があったり、日常の中で排泄の失敗が見られたときは決められた日以外の入浴やシャワー浴を実施し、臨機応変に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力量にあわせて洗濯たたみをしたり、畑作りをしたり、希望があれば散歩やドライブに出かけるなどの支援をしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとのドライブを計画しているほか、日々の生活の中で買い物に出かけたり、近隣の散歩などホーム内だけの生活にならないよう声掛けし、支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関してのマニュアルを作成し、職員の目に付くところに掲示している。地域のグループホーム交流会の勉強会に参加し、研修の機会を設けている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>閉鎖的にならないように夜間以外鍵を掛けないケアに取り組んでいる。玄関は引き戸になっており、開閉時の音を高くして職員に聞こえるようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の指導や、地域住民からの協力体制はとられているが、避難訓練、通報訓練の実施がなかった。</p>		<p>普段から災害対策への意識を高く持ち、夜間を想定した訓練や様々な災害を想定した訓練など、安心して暮らせるよう早急な対応を期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>朝、昼、晩3回の食事で栄養のバランスが取れるよう担当する職員が連携をとりあっている。水分量も3食時のお茶のほか、水分補給の機会を設け積極的に取り組んでいる。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>各種感染症のマニュアルを作成して、看護師が感染症に対する知識の周知を図り、予防、早期発見、早期対応に積極的な取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るく開放的なリビングで一人ひとりが居心地の良い場所で過ごされており、利用者から職員が食事の支度をしている姿が見え家庭的な雰囲気である。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅からの持ち込みは自由となっているが家具などの持ち込みはなく、家族の写真を飾ったりテレビやベットの配置を換えるなど居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。